

上土幌町教育委員会

参加学校名：上土幌高等学校生徒会、上土幌中学校生徒会、上土幌小学校児童会（生徒3名、生徒4名、児童5名）

取組の名称 「上土幌町どさんこ☆子ども地区会議」の取組

12月12日（月）15:30～16:00

取組の概要 場所：各学校（オンライン開催）

【ねらい】

小・中・高の児童会・生徒会同士が、いじめ根絶のための各学校の取組等について情報交換、交流することを通し、いじめを絶対に許さない態度の育成を図る。

【概要】

上土幌中学校生徒会書記局が中心となり、Google Meet を活用したオンライン会議を実施し、いじめ根絶のための各学校の活動紹介、情報交換を行った。最後に、上土幌町教育委員会教育専門員がいじめ根絶に向けたアドバイスを提示し、会議をまとめた。

【児童生徒の感想】

各学校が同じ思いでいじめ根絶に向けて取り組んでいることを知ることができた。今後も、他校の取組を参考にいじめについて考える機会を積極的に設定していきたい。



【オンライン会議の様子】

成 果

上土幌町「どさんこ☆子ども地区会議」の開催により、いじめ根絶に向けた意識を深め、取組の深化・改善に向けたポイントの共有を図ることができた。また、小・中・高等学校の円滑な接続の足掛かりとすることができた。今後も各校との連携や、定期的な会議の開催を目指したい。

鹿追町教育委員会

参加学校名：鹿追高等学校生徒会、町内全中学校生徒会、町内全小学校児童会（生徒5名、児童5名）

取組の名称 「鹿追町子ども会議」の取組

10月20日（木）15:45～16:45

取組の概要 場所：北海道鹿追高等学校 1F 視聴覚教室

【ねらい】

児童生徒が他校の取組や考えに触れ、自校の取組や内容の改善を行うことを通し、いじめの防止に向け自主的な活動を推進する絆づくりの充実を図る。

【概要】

鹿追高等学校生徒会が中心となり、各校の取組を交流するとともに、小学校グループ・中高校グループの2つのグループに分け、テーマに沿って、いじめの未然防止に向けて自分たちにできることについて話し合い、いじめ防止の標語を記入し校内に掲示することを採択した。

【児童生徒の感想】

いじめはどんな理由があっても許されないと思うことができた。他校の取組を参考に、自分たちの学校ができることを考えたい。



【グループ協議の様子】

成 果

鹿追町子ども会議を本格的にスタートさせて2年目。各校の取組を発表するだけでなく、いじめをなくす工夫についてグループ協議で活発な意見交流がなされ、有意義なものとなった。参加した児童生徒から「これからも小・中・高間でいじめを起こさない取組について学び合いたい」という意見が挙げられ、意識の高揚が見られた。

清水町教育委員会

参加学校名：清水小学校、御影小学校、清水中学校、御影中学校、清水高等学校（生徒8名、生徒8名、児童8名）

取組の名称 清水町「子どもフォーラム」の取組

11月24日（木）15:30～17:10

取組の概要 場所：清水町文化センター 1F 大集会室

【ねらい】

小・中・高等学校生が、いじめ根絶などの様々な取組について一般市民を交えて意見を交流することを通し、清水町全体で児童生徒の健全な育成を目指すとともに、町の教育理念である「しみず教育の四季」の浸透を図る。

【概要】

各学校のいじめ未然防止に係る取組について発表を行うとともに、グループに分かれてテーマに沿った意見交流を行った。それぞれのグループでは、一般市民から学校での取組に対する意見をいただき、高校生がグループごとにまとめを行った。

【児童生徒の感想】

いじめ根絶に向けた多様な考え方や他の学校の取組のよさを知ることができた。いじめやネットトラブルに関しての全校生徒で意識を高めていく取組を行っていきたい。



【意見交換活動の様子】

成 果

異年齢の子どもたちや地域の社会人等が集まって行われる子どもフォーラムは、参加した子どもたちが日頃から考えている身近な問題について意見を交換し合う大変貴重な機会となった。また、多面的・多角的な意見を交わすことにより、いじめは絶対に許されないという考えを町全体で深めることができた。

芽室町教育委員会

参加学校名：芽室中学校生徒会、上美生中学校生徒会、芽室西中学校生徒会（生徒9名）

取組の名称 「とび出せ教育委員会・子どもトーク」の取組

2月27日（月）16:00～17:15

取組の概要 場所：教育委員会・各学校（オンライン）

【ねらい】

中学校生徒会と教育委員会が、いじめを含む学校や芽室町の未来について、各校の取組を発表したり、意見交換したりすることにより、教育環境整備や本事業の進展を目指す。

【概要】

教育委員会に対し、町内中学校生徒会がいじめ根絶に向けた自校の取組を紹介し、意見交流を行った。いじめに関する劇の上映、全校生徒の行動宣言を掲載した掲示物の作成、異学年交流を目的とした全校レクレーションによる絆づくり、いじめ根絶のためにできることを全校で話し合うための全校集会の実施等の取組が発表され、全中学校がいじめは絶対許さないという考えの下、今後も取組の改善・充実を図っていくことを確認した。

【児童生徒の感想】

他の学校の生徒もいじめ問題に立ち向かっていることが分かり、これからもいじめ根絶に向けて積極的に考えていきたいと思った。



【「オンライン子どもトーク」の様子】

成 果

各学校で継続的に行われている「いじめ」をテーマとした取組の情報共有を行うことで、いじめは絶対に許されないという意識を町内全域で高めることができた。

中札内村教育委員会

参加学校名：中札内中学校生徒会、中札内小学校児童会、上札内小学校児童会（生徒7名、児童5名）

取組の名称 中札内村いじめの根絶に向けた「子ども会議」の取組

11月15日（火）15:30～16:30

取組の概要 場所：中札内中学校 理科室

【ねらい】

子ども会議において、各学校の取組の交流や今後の取組の改善を推進するための協議等、児童生徒がいじめに対して主体的に考えることを通し、自校のいじめ根絶に向けた取組の充実を図る。

【概要】

中札内中学校生徒会書記局が中心となり、「どさんこ☆子ども十勝地区会議」の報告や各校の取組を交流するとともに、「いじめを起こさないためには、どうしたらいいか」をテーマに話し合った。

【児童生徒の感想】

他者とよい関係をつくるために、あいさつ運動やレクリエーションなど、人と交流する場を増やし、多様性を尊重し合える心を育むことが大切だと思った。



【子ども会議の様子】

成 果 「子ども会議」実施後に行ったいじめアンケートにおいて、「いじめはどんな理由があっても許されないことだと思う」と回答する児童生徒の割合が、「子ども会議」を開催した令和2年度から継続して90%以上の高い割合を示し、いじめ根絶に向けた意識の醸成が図られた。

更別村教育委員会

参加学校名：更別中央中学校生徒会、更別小学校児童会、上小学校児童会（生徒6名、児童5名）

取組の名称 更別村いじめの根絶に向けた「どんぐり村子ども会議」の取組

12月8日（木）14:30～16:30

取組の概要 場所：更別中央中学校 図書室

【ねらい】

子ども会議において、各学校の取組の交流や今後の取組の改善を推進するための協議等、児童生徒がいじめに対して主体的に考えることを通し、自校のいじめ根絶に向けた取組の充実を図る。

【概要】

更別中央中学校生徒会書記局が中心となり、「どさんこ子ども地区会議」の報告や各校の取組を交流するとともに、「更別村いじめをなくそう宣言」の「相手の気持ちを考え、生活します」の具体的な行動について話し合った。

【児童生徒の感想】

村内の他の学校のいじめ根絶につながる取組を知ることができ、自分の学校の取組に生かそうと思った。また、「更別村いじめをなくそう宣言」の大切さを実感した。



【子ども会議の様子】

成 果 「子ども会議」実施後に行ったいじめアンケートにおいて、「いじめはどんな理由があっても許されないことだと思う」と回答する児童生徒の割合が、「子ども会議」を開催した令和2年度から連続して増加しており、いじめ根絶に向けた意識の醸成が図られた。

大樹町教育委員会

参加学校名：大樹中学校生徒会、大樹小学校児童会（生徒3名、児童3名）

取組の名称 大樹町「いじめ子ども会議」の取組

2月1日（水）15:00～16:00

取組の概要 場所：大樹小学校

【ねらい】

子ども会議において、各学校の取組を交流するとともに児童生徒がいじめに対して主体的に考えることを通し、いじめを絶対に許さない態度の育成を図る。

【概要】

大樹中学校生徒会が中心となり、各学校のいじめ根絶に向けた取組を紹介し合うとともに、取組をよりよくするための意見交流を行うことにより、「いじめはどんな理由があっても許されない」という思いを全員で共有した。また、いじめ根絶に向けた意識の醸成を各学校で図るための取組を、互いに協力し合い推進していくことを確認した。

【児童生徒の感想】

他の学校の取組を知ることができ、有意義な時間となった。交流で出された意見を取り入れ、いじめ根絶に向けた自校の取組をよりよいものにしていきたい。



【意見交換活動の様子】

成 果 いじめ子ども会議を開催し、他の学校と交流することにより、自校の取組の改善・充実を図ることができた。また、「いじめはどんな理由があっても許されない」ことを児童会と生徒会で確認したことで、小・中学校一貫したいじめ根絶の意識を高めることができた。

足寄町教育委員会

参加学校名：町内全小学校6年生（児童43名）、足寄中学校1年生（生徒51名）

取組の名称 「足寄町いじめ根絶強化月間」の取組

12月5日（月）9:45～11:25

取組の概要 場所：足寄中学校

【ねらい】

町内小中学校児童生徒が交流する中で、講話を通じていじめについての認識を共有すると同時に、いじめを絶対に許さない態度の育成を図る。

【概要】

足寄町教育委員会職員から町内小中学校児童生徒に対し、いじめに関わる講話を行った。講話を聴き、児童生徒一人一人がいじめの具体や相手の気持ちを考えた行動の大切さについて考え、共有した。

【児童生徒の感想】

他の学校の児童生徒と交流する中で講話を聴き、いじめに関する理解が深まった。今回の講話内容を各学校で周知することで、全児童生徒で同じ認識をもち、よりよい取組を進めていく。



【講話を聞く児童生徒の様子】

成 果 講話を通じて、「いじめは相手への言葉によるものも含まれる」、「相手が嫌な思いをするものはすべていじめに当たる」、「いじめは時に命を失うことに繋がる」など、町内全小中学校が交流する中で認識が共有され、意識の高揚が見られた。

陸別町教育委員会

参加学校名：陸別中学校生徒会、陸別小学校児童会（生徒会4名、児童会5名）

取組の名称 陸別町小中一貫いじめ撲滅に向けた児童・生徒交流会

3月17日（金）15:15～15:45

取組の概要 場所：陸別中学校視聴覚室

【ねらい】

いじめのない学校生活を送るためにできることについて、児童・生徒が主体的に考えることを通して、いじめ撲滅に向けた学校間の共通理解を深める。

【概要】

陸別中学校生徒会書記局が中心となり、各校のいじめ未然防止に係る取組を交流するとともに、生徒会が考えた「いじめ撲滅宣言」を説明し、いじめ撲滅に向けて、小中一貫した取組の重要性について話し合った。

【児童生徒の感想】

中学校の取組を小学校に知ってもらうことができた。今後は小・中学校9年間を見通して具体的にどのような活動ができるのかについて考えていきたい。



【話し合い活動の様子】

成 果 生徒会と児童会が各学校の取組について交流する機会をもったことにより、互いに刺激となり、各学校の取組の深化・充実につながった。また、町内小・中学校がいじめ撲滅に向けて話し合うことを通して、いじめは絶対許さないことについて、小・中学校の共通理解を深めることができた。

帯広市教育委員会

参加学校名：市内全中学校及び義務教育学校生徒会、市内全小学校児童会（生徒14名、児童25名）

取組の名称 「市内小・中学生いじめ・非行防止合同サミット」の取組

6月22日（水）15:00～16:30

取組の概要 場所：帯広市教育研究所（オンライン開催）

【ねらい】

市内全小・中学校及び義務教育学校の児童会と生徒会の代表が共通のテーマについて話し合うことを通し、問題意識や自治意識の向上を図るとともに学校間の連携を深める。

【概要】

市内全小・中学校及び義務教育学校の代表が、共通テーマ「みんなが安心して過ごせる学校」についての話し合い、いじめや不登校等の問題についての考えを深めるとともに、「思いやりと助け合いを大切にしながら活動を進める」等、帯広市の児童生徒全員で取り組む活動スローガンを設定した。

【児童生徒の感想】

各校の代表と話すことができ、児童生徒全員が安心して過ごせる学校を実現するために、活動スローガンを学校で周知し、全校でよりよい取組を進めていく。



【オンライン会議の様子】

成 果 オンラインを活用することにより、3年ぶりに合同サミットを開催することができた。また、子どもたちの話し合いをもとに、活動スローガンを設定することにより、帯広市全体でいじめ根絶に向けた意識を高めることができた。